

# “夢の種まき授業”

## 中主小学校 6年生

6月27日(火)



### 地元の企業とつなぐ 夢と思い

6年生の児童の夢や興味ある職業から、「大工さん」「パティシエ」があがり、地域連携担当教員と地域学校協働活動推進員、6年生担任の先生たちと協議し、「菓志工房うすなが」と「匠工房」さんに来ていただきました。

「菓志工房うすなが」さんは、「東京で働いて、多くの方と知り合う中で、生まれ育ったところで何かできないか、とはじめた。長くやってこられたのは、「好き」だから。1日300~400個のケーキを作る。ケーキは喜ばれるものをよく見て作る事が重要。夢の達成は『やり続けること』でかなう。」と語られました。デコレーションケーキを見事な手さばきでに作って児童たちに見せていただきました。

「匠工房」の大工さんは「カッコいいなと思い、目指した。今年4年目で、仕事を教えてもらい覚えている段階だ。」と語り、児童からの質問「一番難しい工具は？」に「カンナ。1ミリでもずれると削れなくなる。作業は全てミリ単位。」と正確さを求められる職業であると話されました。体験では、柱をみんなで運び、組みあがる達成感を味わえる授業となりました。

地域学校協働活動推進員さんは「児童、先生、地域の思いをつなげられた。普段の生活でも出会うかもしれない地元の企業とつながりができたことは、今後、生かすことができると思う。」と語られていました。

### 菓志工房うすながデコレーションケーキづくりの実演

地域学校協働活動



### (株)匠工房 大工さんと柱の組立体験授業

